# 芦安ふれあい運動会日記　中学生編

　9月16日(土)の午前，令和5年度の芦安ふれあい運動会が開催されました。今回の運動会の様子を，中学生の活躍を中心に振り返ります。

　今回の運動会のスローガンは，「進花　～切磋琢磨し合って　最高の運動会にしよう～」です。このスローガンを達成するため，芦安小中合同で2週間の運動会特別日課に取り組んできました。その成果は，いかに･･･。

## 開会式(児童会進行)

　午前 8 時 50 分，予定通りに開会式スタート。開会式の中で最も注目されるのが，芦安中･生徒会長と芦安小･児童会長の2人による選手宣誓です。他の学校の運動会や体育祭等では見ることのできない景色でしょう。

　なお，選手宣誓に先立って行われた優勝旗返還ですが，昨年度の運動会は赤白同点優勝だったので，赤白代表の2人で返還しました。

# 中学生が出場した種目について

## はじめの体操

お馴染みのラジオ体操第一です。会場の皆さんも一緒にやっていただきました。

## 玉入れ

昨年度にはなかった種目です。児童生徒のみの種目（得点種目）にすることで，昨年度より，運動会の競技性を高めました。2回戦を行い，結果は，白組が勝ちました。

## 中学生種目　借り物（人）競争

生徒の希望により，表現運動（ダンス）ではなく，エンターテイメント性のある種目（借り物競争）を選択しました。何を借りるか本番までわからない偶然性がある種目で，ダンスのように何度も練習をする必要もなく，生徒への負担が軽減できました。また，借り物（人）を通して，保護者・地域の方の方ともふれあうことができる点で，まさに，“ふれあい運動会”にふさわしい種目だったように感じました。

## 児童・生徒会種目

児童会・生徒会で話し合い，二人三脚を取り入れた種目に決定しました。ただ，小学校低学年の子どもたちにとって二人三脚は難しいので，低学年限定でフラフープも使うことにしました。競技中に二人三脚用ベルトが外れるアクシデントもありましたが，どの生徒ペアとも最後まで諦めない姿を見せてくれました。赤組がアクシデントに負けず追い上げましたが，最後は届かず。白組が勝利しました。

## 綱引き

練習中には赤組が圧勝していたのですが，当日は白組も善戦！やはり，会場の皆さんの声援が大きかったと思います。ただ，2回戦ともに赤組が勝ちました。

## 縦割り対抗リレー

運動会最後の種目であり，しかも，得点種目です。この種目の勝敗が総合優勝の行方を左右します！小学校低学年からスタートしたレースは，中学生にバトンが渡った時点では赤組優勢。しかし，ここから白組が追い上げ，いよいよ，中学3年のアンカーへバトンパス。どちらのアンカーも全力でゴールへ。最後は，白組が赤組を追い抜き，ゴールテープを切りました。中学生のリレーは，やはり，迫力があり，最後まで見応えのある競技となりました。（生徒の活躍の様子は，次のページで）

## 小学生の種目の様子について

一輪車演技もソーラン節も，毎日，暑い中，たくさん練習していたようです。練習の成果をしっかり出せていました。

芦安よさこいソーラン

芦小 spirit

## 保護者・地域の方とともに

この運動会は，保護者・地域の方も運営に加わり，次の種目にも参加していただきました。（中学生の様子を掲載しています。）

「親子種目・何が出るかな」

「オープン玉入れ」

「みんなで綱引き」

「ふれあい一輪車」の様子を見守る中学生

「芦安音頭」

「宝拾い」の拾う宝を並べている中学生

## 閉会式(生徒会進行)

子どもたちが最も気になっていたのが，成績発表でしょう。今回の運動会は，赤組43点，白組49 点で，白組の優勝で決着しました。

感想発表では，中学生を代表して，生徒会会長が発表しました。「芦安小中9年間の中で，一番楽しかった運動会だった」という感想を聞くと，私たち教職員もうれしく感じました。PTA会長は，講評の中で，小中学生のがんばりを讃えるとともに，帰宅後の健康管理についても触れていただきました。

閉会式後には，保護者・地域の方々にも，テントやイス等の片付けに自主的に協力していただきました。おかげて，短時間で片付けを終えることができました。